

人口の動き

人口	4,082 人
世帯数	957世帯
出生	3 人
死亡	1 人
転入	7 人
転出	3 人

(12月末住民登録人口から)

ひがし しらかわ 広報

第167号

発行

東白川村企画広報課
岐阜県加茂郡東白川村
TEL (東白川) 1 番

印刷

中部印刷株式会社

昭和48年1月25日発行

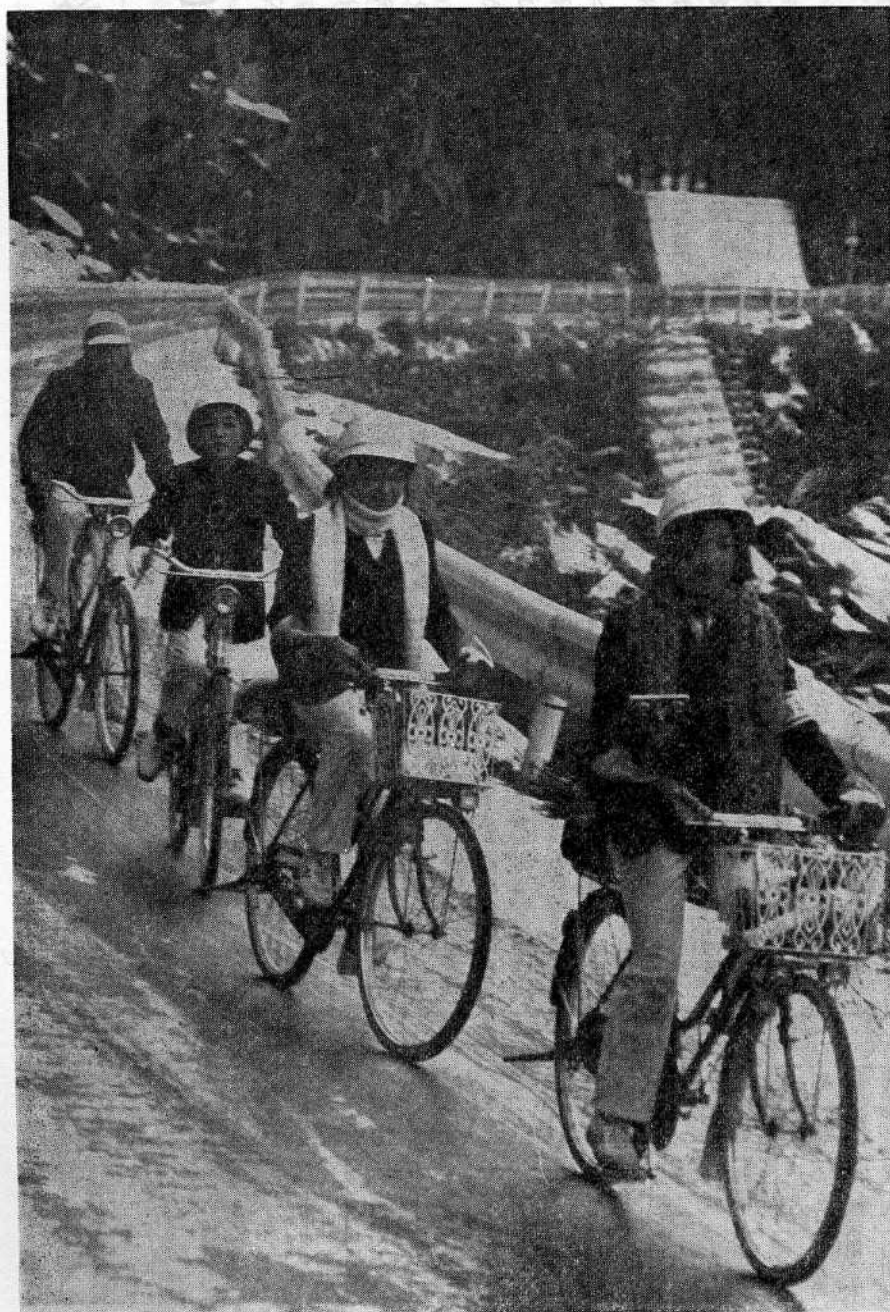
ことしも 無事故で

寒風の中、元気にペダルを踏む生徒たち。

毎日100余名が自転車で通学しているのです。

危険がいっぱいの道路、ことしも元気に無事故を続けて欲しいものです。

一神土なべ付近で



紙上インタビュー 広い心で見守って 自覚と責任をもつ新成人者

新しい年昭和四十九年を迎え、私たちは明るく豊かな国づくり、村づくりを目指し、力強くその第一歩を踏み出しました。

物価高、物不足でスタートした寅の年、新たな希望と不安を抱いて、ことしの計画をあれこれと樹てられたことでしょう。私たちは高度経済成長の中で、人間本来の姿を見失ってはいなかったでしょう。かことしこそ、味のある一年でありますように。ことしもはたちの春を祝う成人の日の記念行事が、全国各地で行なわれました。

本村でも一月十五日、この日新しくおとなの仲間入りした二十八人の若者を招いて、その成人式が神田殿で晴れやかに行なわれ、関係者からの祝福と激励をうけ、社会に飛び立ちました。明日を開き、未来を築く若者たちの夢や希望はこの日にちなんで広報編集室から、はたちの若者たちの紙上インタビューのようを紹介しします。

【答えてくれた青年】

A 君（農家の後継者として村の将来を背負って立つ好青年）
B 君（歯医者さんの卵として将来を嘱望されている若者）
C さん（保母さんとしてだれからも愛されている娘さん）

（…ご成人おめでとう。まずはじめにおとなの仲間入りするいまのあなたがたの感想をひとことお聞かせください。）
A ちよっぴりうれいような、悲しいような気持です。
やはり、社会人となったからには自分自身を自覚し、責任をもって行動したいと思います。
B 幼いころは、おとなの特権を



→心をひきしめ成人誓いの言葉を述べる田口さん

うらやましく、早くおとなになりたいと待ち望んでいたけど、特権に対する義務や責任の立場がわかって緊張感を味わっています。
C 今まで何んとか中途半端な感じだったけど、社会人としてスタートするからには、いろんな事に關心をもち、反省や考える事の余裕と、責任をもってやっていきたいと思います。
（…これからの社会にのぞむあなた抱負は。……）
A 今まで学んできたこと、これから学ぶことをフルに活用し、農林業の後継者の一人としてがんばりたいと思っています。
青年団活動の中で社会づくりに

協力し、若い力を燃やしたいと思っています。
B 現在の社会で歯科医制度への要求（数や質の点）が高まる中で社会につくせる歯科医になりたいと思っています。
C いまは自分の仕事をしっかりやること。周囲のひとびとの口で自分が創りあげられるのではなく自分のやれるものからやって、いろんなものを身につけ、そのうちにどうしても必要な人がいたら暖かい家庭を造りあげたい。自由ということはむずかしいけど、のびのびした心を持つ子供たちを育てていきたいと思います。
（…若者としての立場から、世間や職場に対する意見や注文はありませんか。…）

A 私たち若者にとって現在の社会は非常に住みにくく、不満ばかり多い社会だと思ふ。その不満の中でいちばん多く耳にすることはおとなたちの間で「いまの若い者は」と頭から批判されることが多い。もう少し広い心で若者を見守ってほしい。私たちも批判の少なくなるよう努力します。
C 上から横から強い力で個人を押しつぶしてしまふのではなく、ひとりひとりの気持をたいせつに暖かい目でみてほしい。時には、年の差地位なんて忘れて語り合うようなそんな暖いふれあいがある

けいじばん

■人の動きあれこれ



誕生おめでとう
ございます。

（十二月）

（大明神）林

久美子 麻美
長女

（中）谷田口

光洋 真紀
長女

（平）安江

兼辰 美果
二女



いつまでも
おしあわせに

安江 光昭（上親田）

安江 啓子（曲坂）

安江 茂（大明神）

細江 まつみ（白川町）

安江 正雄（柏本）

洞ノ口 久代（白川町）

安江 敬吾（陰地）

安江 久子（加倉尾）



おめでとう
申しあげます

田口 忠左衛門（日向）

いすね。

(…あなたの将来への生活設計についてひとことどうぞ。…)

A ぼくは特に林業に力を入れたと考えています。だからこれからの生活は林業と農業を中心に行っていくます。家庭？それはまだちよつと……(笑)

B 歯科医も将来は医者と同じように分野が細分化されるだろうと思う。そこでぼくは小児歯科の分野へ進みたいですね。

輝かしい昭和四十九年の新春を寿ぎ、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

村内の皆様方のご清福とご繁栄を、まづもって心からお祈り申し上げます。

昭和四十八年は厳しい社会の変化の中で、明るく豊かな住みよい村づくりを目指し、村民総意を集めた住民総参加の行政を進めてきました。

村民福祉の向上をひたすら願う人間中心の施策諸事業は豊かな実りをもたらし、村民のより高いしあわせを求めてきました。

しかし、激動する社会情勢下にあつて、これからも地域全体が真に創意を生かし、力を合わせ、時には強勇ささえも辞さない決意と、協力体制がなければ真に村民のしあわせは得られません。

(…あなたの描く東白川のイメージについてお聞かせください…)
C 東白川を離れて、またこの村にもどつても「ああいいな東白川は…」と思える村であつてほしい。

だんだん心の中が小さくなるような感じがします。いい環境にあるのだから、もっといろんな交流や発表する場所がつけられるといいなと思います。

A ぼくたちの年代になつて自分また、激動を乗り切ることもできないのです。



質を換えた豊かさに

村長 安江多策

さいわい村内の皆さんをはじめ議会各位の村政に対する惜しみないご協力とご支援を賜り、お陰をもちまして堅実な成果をみてまいりましたことを、心から厚くお礼申し上げます。

新しい年を迎えた今日、さらに厳しい社会情勢の制約下にあるとはいへ、私たちは先人諸賢の歩まれた道をふり返り、未来に思いをいたし、新しい飛躍に期待をかけ

の生れ育った村ふるさとをの良さがわかつてくるような気がします。

都会に出て働く若者たちにとつてもよりよいこいの場であるよう良い村づくりを……

(…村の現状から見て、若者としていまいばん望んでいることは……)

A 東白川にも年々若者の数が多くなつて来たようですが、農林業の後継者として働く青年はまだまだ少ないですね。

るものです。
今や世界は、中東戦争に端を発し、ニクソンのエネルギー教書等でさらに深刻な事態に立たされていきます。

石油危機の問題は「アラブ産油国の原油生産削減」「国際石油資本の供給制限」などから我国の産

ぼくは、今後若者が行なう農林業に後継者のひとりとして期待したいと思っています。

C 村の中だけに沈んで小さくなくつてしまふのではなく、心を広く持つて大きく大きく育つてほしい。いろんな人にもよい所を見てもらつて、この村はいいなと青年(若者)たちがたくさん集まつてくるようなそんな村であつてほしいと思います。

何もなくても草原のような広い行財政に及ぶことであります。

「使い捨て多消費から節約」、全国民の意識転換は必要であり、「国民生活において資源の浪費を排し、節約は美德」の価値感を定着せしめ、すなわち、物をたいせつにする心を養ひ、このわざわざを福に転ずることが重要でありま

しょう。

しかし、石油問題がいかに外圧的要因とはいへ、豊かさの質を換えた福祉施策をさらに充実すべきであると考えます。

また、このようなときこそ、真に住民の心にふれ、肌を感じ、行政に信がおかれる施策が最もたいせつであると信じます。

きたるべき二十一世紀の布石として、緑につつまれた自然の大地

ものがあつてもいいですね。

B すばり一口に云つて「われわれの村の若者の教育の場と云う姿で高校の設立を強く望みます。電話も呼び出しでは非常に不便なのでダイヤル通話式にしてほしい。(…いろいろよい意見をありがたう。紙面の都合できようはこの辺で……みなさんの今後の活動を期待します。…)

と清らかな水資源、これらの自然を守る必要があります。

地場産業である木材加工と農林業経営、第二第三次産業を振興し本村の立地条件に似合った軽工業を積極的に導入することが、村の発展につながるものと考えられます。

祖先から受け継がれてきた、素朴で人間性豊かな生活、社会構成の基盤である固い協調性と強い連帯感を活かし、より豊かで住みよい村の建設を目指します。

村民各位の新たな付託に応え、いっそう心を強く堅持し、郷土の繁栄に向つてまい進いたすことをこの新年にあたり決意を新にするものです。

村内各位のご理解あるご協力ご支援をお願い申し上げます。

上通り子ども会も表彰

節約ムードで恒例の出初式

若あゆおどる ふるさとの明る
い平和を守るもの……と、新春恒例
の消防団出初式が、一月七日、神
土小学校々庭において行なわれま
した。

毎年続いていたいっせい放水は
石油不足、節約運動のおりから、
ことしはとりやめになりました。

整列、表彰、闊団、分列行進と
一糸乱れぬ規律の中で、式は整然
と行なわれ、ことしの村の守りの

第一歩が踏み出されました。

消防団活動に功績のあった人や

優良な団員には表彰状が渡され、

日向通り子ども会が、長年夜ま

わりを続け、地域の防災活動に協

力したことから、村長から感謝状

が贈られました。

なお、表彰を受けた団員や、功

績者は次のとおりです。

▼岐阜県知事表彰

功労章―安江公平、中村十美

田口学、安江正介

▼加茂県事務所長表彰

功労章―桂川耕作、

安江利勝

▼日本消防協会会長表彰

自治体消防第足二十

五周年記念―古田敬二

村雲忍、安江林、松岡

進、安江一美、桂川耕

作、今井猛夫、木村成

人

▼岐阜県消防協会会長表彰

功績章―沢木嘉康、

今井幸吉

功労章―安江林、安江正介

▼加茂郡消防協会会長表彰

優良団員―今井光彦、今井幹

雄、今井正明、安江二三、安江

庄吉

功労章(十五年)―松岡進、

安江一美、桂川耕作

功労章(十年)―今井憲、村

雲孝次、安江重治、島倉正量、

今井晴男、今井怜、安江庄吉、

青木桂一、今井良一、安江恭介

島倉捷司

特別表彰―安江利勝、伊藤勉

服田孝彦、村瀬武和、安江竜次

田口洋児、安江作郎、今井邦光

大岩俊逸、安江建夫、山中真善

美、伊藤宏行

▼東白川村長表彰

特別功労章―松岡進、安江一

美、桂川耕作

優良団員 安江訓、安江務、

伊藤勉、藤井勝美、安江進吾、

桂川耕輔、田口勝司

感謝状―服田味雄子、日向土

通り子供会

▼東白川村消防団長表彰

優良団員―安江貞行、安江秀

太郎、田口忠一、小池勇、安江

将一、今井邦光、安江征勝、村

雲要、安江竜夫、栗本忠一、藤

井一二三、今井和好、今井保都

村雲春夫、牧野三造、松岡勝司

大坪隆司

功労章―藤井一二三

▼トイハツポンプ感謝状

ポンプ管理優秀―第一分団第

六ポンプ、第三分団第九ポンプ

広く活用して

越原公民館が完成

かねてから要望されていた越原
公民館が、総工費七百五十万円を
かけてこのほど完成しました。

十二月十四日、加茂県事務所長
ほか多数の関係者の出席のもとに
その竣工式が行なわれ、越原区民
の集会施設としてオープンしまし
た。

建設については、婦人、青年団
から強く要望され、区長さんをは
じめ地元建設委員のかたがたのお
骨おりと部落の協力により、りっ
ぱにでき上りました。

この施設は、集会、研修等に広
く活用でき、社会教育面での利用
に大いに役立つものと思われま
す。

使用されたい方は、越原区長
(桂川政一)さんへ申し込んでく
ださい。

児童手当の支給範囲が拡大 されます

昭和四十九年三月三十一日ま
では、三人目以降の児童が十歳
という制限がありました。が、こ
の四月から、十八歳未満の児童
三人のうち、一人が義務教育終
了前であれば、児童手当が支給
されることになりました。

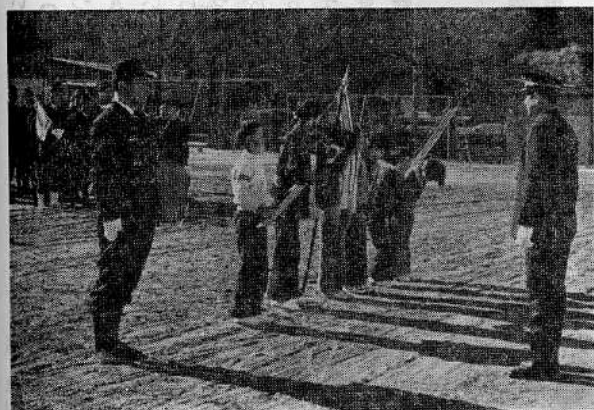
この制度は、昭和四十七年一
月一日から実施されていましたが、
このほど支給対象が拡大さ
れることになり、役場では該当
者と思われる方に認定請求をし
ていただくよう通知しました。
ただし、通知もれになった方
があるかと思われますので、該
当する方は役場民生課へ連絡し
てください。請求方法をお知ら
せします。

青年祭に参加を

東白川青年団の青年祭が、こ
としも三月十日、東白川体育館
で行なわれます。

四ブロック、八十名の団員が
一月からこの青年祭をめざして
毎晩のように集まっています。演
劇、音楽発表、歌、踊りなどの練習
をしています。

昨年に続いて演劇はすべて創
作劇で、ユニーク形式で行な
いますので、村内の皆さんも多
数ご参加ください。



↑ 感謝状を贈られる
子ども会のよい子
たち

一般募金 (組長扱い)

部落名	募金額	部落名	募金額
大口	5,250	日向	14,950
平	40,651	陰地	16,355
下親田	12,350	析山	5,405
上親田	10,503	黒瀧	—
中通	7,000	大明神	12,750
神付	4,900	柏本	9,900
中谷	2,700	宮代	3,570
加舎尾	3,400	下沢	6,500
西洞	9,300	大野	2,100
曲坂	1,300	須見	2,400

特志募金状況

氏名	募金額
東白川村青年団	20,000
佼成会青年部	26,006
新婦人の会東白川支部	7,600
青年団越原分団	2,000
村議会議員一同	15,500
民生委員一同	10,000
神土小学校児童会	2,000
神土保育園職員一同	2,000
越原保育園	2,000
五加保育園	1,000
越原小学校	3,383
五加小学校職員一同	1,912
東白川農協	3,000
東白川郵便局	4,000
森林組合	1,000
東白川病院	1,500
母子センター職員一同	3,000
東白川村役場	34,453
日向カミソリグループ	3,000
曲坂	5,000
蓬来館	1,519
丸大製材所職員一同	3,100
田口建設	3,200
森川毛織	1,700
木村建設	3,000
丸登製材所	2,300
山田組	6,495
大平工業	1,400
日向、村雲順一	3,000
桂川政一、和子	2,000
安江延生	3,000
陰地、安江よ志	5,000
上親田、安江登己郎	2,226
平、沢木きしの	1,000
安江初一	775
田口和子	1,500
大口、村雲いづみ	380
西洞、安江健二	3,564
加舎尾、安江平茂	1,000
佐見清水トモエ	10,000
岐卓安江千章	5,000
匿名	2,170
	20,000
	2,157
	30,000
平森藤市郎 (衣料品)	約50点

善意の43万5千円

盛り上った歳末たすけあい運動

昨年の暮に行なわれました歳末たすけあい運動の募金結果がまとまりました。

石油危機と異状な物価高で迎えた師走でしたが、村内皆さんの愛のたすけあいが大きく盛り上がり予想もなかった四十三万五千二百四十四円という、多額の募金が集まりました。

これは前年の実績、三十万五千二百二十七円を大きく上回るもので、皆さんから寄せられた暖かいご協力で深く感謝いたします。村では、十二月二十一日現在の募金額、二十五万六千円をさっそう恵まれないかたがたへお届けしましたが、その後愛の募金が続々寄せられ、このような額になったものです。

そこで、新年になって再び、この募金を生活保護世帯、独居老人の皆さん、本村出身者がお世話になつてゐる老人ホーム等の施設へお届けしました。

差し引き残金五万四千八百四円は、今後のたすけあい金として保管してあります。

また寄せられた子ども用の衣料品は、ちえおくれの子どもたちがいる瑞浪市の県立花ノ木学園へ届

【募金の配分先】
生活保護世帯 九万五千元
重度心身障害者(児) 二万七千元
ねたきり老人 九万円
長期入院者 二万八千元
一萬三千円
救護施設の生活不能者 四千元
施設に在るちえおくれの子 四千円
らい病療養者 八千元
母子家庭 一萬四千元
ひとりぐらしの老人 一萬六千元
社会福祉施設見舞金 六萬六千元
慰問品購入代金

合計 一萬五千三百二十円
三十八萬三千二百二十円

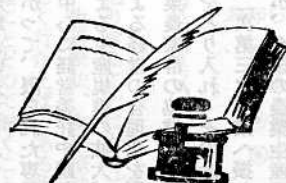
けしました。
今回の歳末たすけあい募金が好成绩を納められたのは、特志による募金が多く寄せられたもので、その一部を紹介致します。

◎高校一年生の安江千章君は、こずかいの一部をジュースの空缶に貯めて、それをそっくり届けられました。

◎青年団がグラント整備をして得た賃金を、恵まれない人のためにと寄付してくれました。

◎老人クラブ長寿会から、蓬来館の電気アンマ機使用料がそっくり届けられました。

そのほか亡くなった息子の供養にと加舎尾の安江茂さんから、退院できた喜びにと陰地の安江よ志さんから、ほんとうに心あたたまる募金が寄せられました。



村雲さん慰霊塔修理にご厚意
かつての戦争の犠牲者となられた方々の霊がまつられている役場前の慰霊塔も、長年の風雨にさらされて痛みがひどく、関係者の間からその修理がのぞまれていましたが、昨年暮、奉賛会長である村雲一男さんのご好意によって、手すり、紋標、開戸などが修理され面目を一新しました。

若い人の働ける職場を

村総合計画でめざす村の姿

先ごろ、昭和六十年を目標に樹てられた「東白川村総合計画」のあらましは先月号（第百六十五号）でお知らせしましたが、本号ではこの基本構想に盛り込まれている村の将来像や発展方向、将来人口の予測、就業構造の見通しなどを紹介し、それらの問題点について、みんな考えてみたいと思います。

■村の将来像と発展方向

都市化に伴う深刻な公害問題から、自然の価値が見直されている今日、緑につつまれた自然の大地と清らかな水や空気に恵まれた本村は、人間の心のふるさととして将来性に富んだ地域といえます。香り高い白川茶、高級繊維となる養蚕、良質建築材としての東濃ひのきなど、本村ならではの特産物もあり、また、不変の生活基本である食糧の需給も十分な能力を持っています。

村は、現在までの農林業振興地域としての確固たる地位を犯すことなく、立地条件に似合った精密機械、電気など公害の少ない軽工業の導入、農産加工、観光レクリエーション資源の開発など、産業の一体的な発展が期待できます。広い目から眺めても、都市近郊

の工業拡大による環境悪化から、教育や文化は、こうした水や緑の豊かな中へ移りくることも予想できます。

このような時代の変動の中で、自然をより有利な条件として、距離的にもいま一步の交通網の整備によって、人間の安住の場として位置づけ、活気と魅力にあふれた地域とすることができそうです。

今後、私たちは、先祖伝来の素朴で人間性豊かな村民性を失うことなく、創意と工夫をこらして、より豊かな住みよい地域社会を築きたいものです。

■将来人口の見通し
産業構造の変化に伴って人口が極端に流動し、過密過疎の問題が深刻になっていきますが、本村はいわゆる過疎の部類に入り、昭和二十五年の五千六百六十四人をピーク

にその後年々減って、現在（昭和48・11月現在）四千七十八人に減っています。

減少の第一の原因は、出生数が減り、しかも若年労働力が都市へ流れ、年齢構成の比率が十五歳から二十九歳の若年層では昭和三十五年の一・八・三割から四十五年には一・三・二割と低下し、逆に六十歳以上は一・三・九割から一九・一割と比率が高くなり、人口の老齡化がめだってきています。

本村の将来方向からみて、今後の発展のためには、人口の減少傾向をおさえ、若い層が村に残る方策を考えなければなりません。
本村の立地条件に似合った人口を想定し、昭和六十年における人口規模は四千八百人台を目標にしていますが、それがためには、産業基盤を拡大し、社会施設を整え若い人たちの安定した職場を創り出すことが、今後の村の最大の課題といえましょう。

また、長年の宿願であった高校への自宅通学の見通しもたち、高校生を含めた若い年代の増加の実現が期待できます。

■今後の就業構造と経済指標

本村の主要産業である農林業の生産性は他産業とはかなりの格差が見られます。
とくに農業面では、本村の溪谷型急傾地という立地条件から、大型の機械化や、集団化のためのほ場整備が困難なため、土地生産性の低い地域といえましょう。

したがって、限られた専業志向農家を中心に経営委託や請負耕作などによる生産規模の拡大、近代装備による経営の合理化を図りつつ、兼業農家群の協業化や経営分担方式をとり入れ、その余剰労働力を第二次第三次産業へ振り向けることが、今後の農業生産の合理化、近代化にとって最も重要な課題となります。

今後の就業構造の見通しは、第一次産業の労働人口は次第に減少し、第二、三次産業へ移行することが予想されますが、全産業を通じて就労の安定化と生産所得の均衡した向上を図らなければなりません。
昭和六十年までの本村の主な経済指標を図のような見通しを樹て今後の施策をすすめるようとしています。

主要経済指標の見通し

区 分	4 5 年	5 5 年	目標年次 (昭和60年)	指数(45年=100)	
				55年	60年
総 人 口 (人)	4,080	4,566	4,855	112	120
世 帯 数 (戸)	969	1,062	1,103	109	114
就 業 人 口 (人)	2,233	2,299	2,467	103	110
第 1 次 産 業	1,094	846	734	77	67
第 2 次 産 業	667	907	1,132	136	168
第 3 次 産 業	472	546	601	116	127
生 産 所 得 (万円)	146,146	288,681	443,262	198	303
第 1 次 産 業	76,485	100,158	136,120	131	178
第 2 次 産 業	29,580	99,331	183,499	336	630
第 3 次 産 業	40,082	89,192	123,642	233	308
人 生 口 1 人 当 り (千円)	358	632	913	187	255
生 産 者 1 人 当 り (千円)	654	1,256	1,800	193	275

(註、生産所得額は45年度価格で換算しています)

サークルふたつがうぶ声

短文芸と囲碁の会へどうぞ

さる一月二十日、村内で二つの同好者の集いが産ぶ声を上げました。

一つは、短歌、俳句、川柳などの短文芸を研究する同好者の集いと、もう一つは、囲碁による仲間づくりを推めていこうとする囲碁サークルです。

この二つのサークルは、いづれもみんなが集まり、語り合い、よい考えを出し合ってよりよい仲間づくり、村づくりをしていこうという公民館の呼びかけにこたえて発足したものです。

短文芸の会、囲碁の会とも、まず楽しみながらお互いに話し合える場をつくろうとそれぞれ、二、三人の発起人が中心となり、新聞にチラシを入れたり、有線放送で呼びかけたりして発足をみたわけでした。

短文芸の会、囲碁の会とも午前十時に公民館と外一会場を使い、まず、発起人の会を発足させるまでの経過が説明されたあと、今後運営していくための役員などを決め、早速、専門の研究に入りました。

短文芸の会は、田口良三さんが

中心となって年間を通して、四季折々に句会を開くなどの計画がたてられました。

一方、囲碁サークルは、二十五名の天狗が集まり、今後定期的に大会をもつための地区役員や方法の基本事項をきめた後、トーナメントによる大会を開催。

午後六時まで和気合々と碁の音を響かせました。

■糖尿病は早期発見がたいせつ

村では成人病予防対策の一環として、糖尿病早期発見、早期治療のために、年一回の糖尿病精密検査を行なっています。

糖尿病は完全に治りきることはありません。しかし、定期検診を受け正しくコントロールすれば、普通の人と同じ生活ができます。

本年度も二回にわたり、岐大宮田教授、眼科医佐野先生の協力を得て、東白川病院で検診を行ないました。

その結果糖尿病の人には、それぞれの病状に合わせ、「糖尿病教室」で生活や食事について勉強してもらっています。

その結果、優勝は河田昭一さん二位を古田栄作さん、三位を渡部正二郎さん、田口博さんが獲得しグループ発足を兼ねた大会を盛會裡に閉じました。

なお、短文芸の会、囲碁の会とも、どしどし入会していただくよう希望していますので、入会希望者はこれらのサークルの窓口である教委事務局までお申込みください。

また、このほかにも、民謡の会ほかのサークルを発足させたいという動きもあり、これらのサークルができるのも間近いようです。

こうした地道な努力で少しづつ

良い方向へ向っていますが、中には悪化している人があり、少数ではありますがありますが、見逃すことはできません。

また、検診を受けるけられない方が以外と多く見られますが、村で行なう成人病予防検診などを利用し自分の健康状態を確かめておくこともたいせつなことです。

糖尿病というのは、すい臓からのインシュリンというホルモンの分泌が減少し、血液中的ブドウ糖が過剰となり、尿にも排出されま

す。しかし、糖尿病を早く発見し、正しくコントロールすれば、健康な人と同じように生活することが



す。

のどがかわき多量の水がほしくなり、尿の量と回数が増し、疲れやすからだのなる病気で

す。糖尿病を知らないうで過したり、糖尿病であるのに治療を行わないでいると、活動能力が減り、脳卒中、

心臓病、肝臓病、視力障害、感染症などの余病を起こして早死します。

しかし、糖尿病を早く発見し、正しくコントロールすれば、健康な人と同じように生活することが

できます。

完全に治りきることはなくても定期検診、生活療法、食事療法の三つを正しく行なえば、ある程度の良い状態にとどめておくことができます。

糖尿病の人の生活をコントロールすることは、家族の健康生活を進めるのに大いに役立つことです。

病気のこと、その他わからない点がありましたら役場、病院に保健婦がおりますので健康な生活を保つため、気軽に相談ください。ことしもよろしく願ひします。

(病院有線一三三五)

スポーツ教室参加者を募集

バレーボール、剣道の未経験者を対象に

体育協会の今年度最後の事業であるスポーツ教室の下記の要項により開催しますので、多数ご参加くださるようご案内します。参加については、村内一般男女のかたがたで、特に未経験者を対象に行ないます。

指導には村外より講師を依頼し、体育協会の部員がお手伝いします。

教室は4時間単位で、3回受講していただくことになっていますが、くわしいことは新聞折込み、有線などでお知らせします。

◎期 日 第1日目(2月24日12:00~4:00)

◎会 場 東白川体育館、東中ホール

◎種 目 バレーボール、剣道

◎申し込み先

教育委員会内、体育協会事務局

ふるさとへの便り

うれしい「ありがとう」

学校と病院でがんばる今井さん

東白川広報を毎回送っていただきありがとうございます。

ふる里を離れ九カ月、ようやくこちらの生活にも慣れ安定した毎日を送っています。

私の生活は、学校と病院の仕事との両立です。

クラスメートのほとんどが自宅から通学している中で、他の人と異なった状態にいますので話のくい違いや、時間的に友達といっしょにできないこともあります。

けれど今の仕事はそれなりにや

りがいのある仕事ですし、学校以外のひとと話せるのはうれしいことです。

私は病院で住みこみで働き学校へ行っていますが、昼は学校、夜は仕事です。

学校は放課後クラブ活動がありますが、途中で帰らしてもらっています。

それがいちばんつらいことです。

五時に帰り五時半から仕事です看護婦さんの仕事ですが、ただし

注射はうちませんけど……一日によって八時に終ったり九時頃になることもあります。

小さな病院なのでなじみの人が多く、親しくなっている人なことをしやべります。

最初は何れぬ仕事でよく失敗し故郷を思い出したものでした。

でも「ありがとう」のことがばを聞くときぐうれしくて、つらいことも吹き飛んでしまっています。

友達によくふるさとのお話をします。

「いなか」とか「へき地」なんて言われますが、私は川で泳いだこと、緑の山々に囲まれて育ったことなどの話をするのが好きです。

みんなにもうらやましがられ、

そして我慢でき、すばらしいふるさとだと思っています

いつまでもいまのままのふるさとであってほしいと願っています

す

岐阜市安良田町五十三
山口医院内
今井留利子



なつかしい 習字と対面

1月2日親峯習字会の書初会のおり、34年前に書いた自分の習字に対面し、幼いころを思い出している古田芳一さんです。

これは小学校6年（昭和15年）の卒業記念に「手なrai」を神田神社に奉納したものでこのほど神官の方から見せていただき、なつかしい筆跡から、古き良き時代が浮かんでくるようです。

問

谷川に車庫を

答

許可が必要

お答えします

拝啓、私の車は青空駐車をしていまして、車庫を建てたいのですが敷地がなくて困っている者です。

幸い、近くに谷川がありますのでそれを利用して、車庫兼倉庫を建築したいのですが、左記のことについて村広報でお答えください。

問(一) 谷川の上を利用して、掛け造りに車庫を建築したいのですが、県の認可が必要でしょうか。

問(二) 建築後、宅地税がかかりますか (二村民より)

(答え、役場土木建設課)

答(一) 御質問の場所がわからな

いたため詳細なお答えはできませんが河川は河川法によって取締られています。

河川を分類しますと白川、大明神川、柏本川等の一般河川、神付川、左広川等の砂防河川、

その他けい谷湖沼あるいは字絵図に青線で明記してある溝、水路等は普通河川に入り、これらの河川敷地内、または河川の沿岸地に建物等の工作物を建設する場合は、すべて県の許可を必要とします。

なお、河川敷は国有地で、国または県が管理しています。

工作物が流水、護岸等に悪影響を与えなければ許可になりますので、役場土木建設課へお尋ねください。

答(二) 河川敷地内に工作物設置が許可になれば、河川占用料金がかかります。



遅ればせながら、あけましておめでとうございます。石油危機とそれに伴うインフレの嵐の中で明けた昭和四十九年は、いろいろな面で試験の年といえます。

■物の豊かさから心の豊かさへの時代として、私たちはより考えより話し合い、そして明るい郷土を築かなければなりません。

■村では、いま部落懇談会を開き、皆さんとひざを交えての話し合いを行なっています。

その内容は次号で特集の予定です。